

1 アンモナイトの化石レプリカを作ろう



○アンモナイトの化石

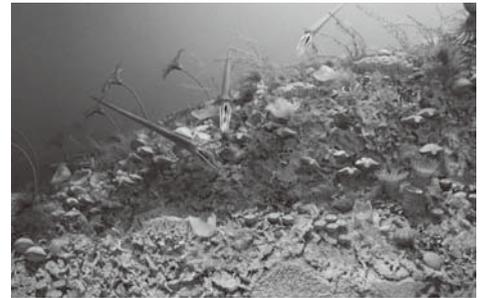
〔特徴〕

◇いつの時代の示準化石	中生代
◇生息していた場所	海の中
◇何のなかに近い	イカやタコのなにか
◇いつごろ絶滅した	約 6600 万年前

2 化石から過去の環境を調べよう

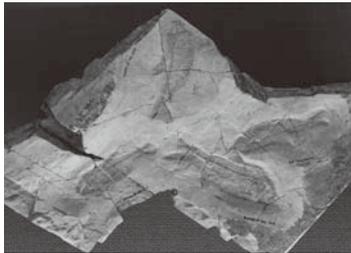
(1) 太古の北九州のようすを知るためには、地層を調査して岩石や化石を探し、それらについて調べていく必要があります。次の文の()に適切な言葉を入れ、文章を完成させましょう。

右の写真は、エンバイラマ館入口にある「サンゴ礁の時代」のジオラマです。約3億年前、平尾台などの石灰岩は、サンゴ礁が育つ暖かい海に位置した島として存在していました。北九州では、門司区青浜の梅花石に見られる(ウミユリ)や(アンモナイト)など、当時のようすを知る貴重な化石が数多く発見されています。それらをもとに、当時のようすをジオラマとして復元しています。



「サンゴ礁の時代」ジオラマ

(2) エンバイラマ館「リサーチゾーン」の展示を見ましょう。写真の化石を探し、名前と時代を答え、その生物が生息していた環境を推測しよう。

資料			
名前	(ウミユリ)梅花石	ディプロミスタス	ペンギンモドキ
時代	古生代石炭紀	中生代白亜紀	新生代古第三紀
環境	暖かい海	湖や川	暖かい海